

## 地域における国際協力活動

### チャリティーグッズの販売

国際協力募金の一環として、ベトナム雑貨の販売を行っています。

ベトナムボランティアワークの旅参加者がホーチミン市のベトナム市場で購入した雑貨を10月に札幌・とちぎ帯広・北見で行うYMCAバザーや地域の国際協力イベントなどで販売し、売上を国際協力募金に入れていきます。



### フェアトレード「ビーズ・キーホルダー」の販売

ベトナムYMCAが運営する障がい者センターでは、職業訓練の一環として「ビーズ・キーホルダー」の製作を行っています。

北海道YMCAでは、つまいと志ベトナムボランティアワークの旅の際に障がい者センターを訪問し、車いすを寄贈すると同時に、「ビーズ・キーホルダー」を購入して来ています。

ビーズ・キーホルダーの売上は、下記のように使われています。

### 売上の40%は作った人に賃金として支払われます。

ビーズ製品は、ベトナムYMCAハンディキャップセンターに通う障がい者が職業訓練の一環で作成しています。

通常はあまり売れる物ではないようですが、障がい者が作った製品はハンディキャップセンターが買い取っています。キーホルダーの場合1個あたり約100円が障がい者の収入になります。ビーズ製品の販売先No. 1は北海道YMCAだそうです。



(ビーズ製品の製作作業風景)

### 売上の20%はベトナムYMCAハンディキャップセンターの運営資金になります。

ハンディキャップセンターは、2000年8月1日に設立され、普段はパソコン・外国語（主に英語）・ビーズ細工・刺繍等の職業訓練を行う他、スポーツ活動、社会参加活動等障がい者の生活支援に取り組んでいます。



(ベトナムYMCA障がい者センター)

### 売上の40%は北海道YMCAの国際協力募金として使われます。

ベトナム・メコンデルタ地域農村での教室建設やベトナムYMCAハンディキャップセンター支援など北海道YMCAが独自に行っている国際協力活動の他、パレスチナでのオーリーブ植樹活動・アフガン難民キャンプでの学校運営・東ティモールでのYMCA活動支援など全国YMCA協働で行っている国際協力活動に使われます。



(2013年8月に完成した教室)

「ビーズ・キーホルダー」は12月に札幌・とちぎ帯広・北見のYMCAでクリスマスビーズとして販売しています。又、道内で行われるフェアトレードのイベントでも販売することがあります。